

## 「サステナビリティレポート 2023」公開

～持続可能な社会の実現に向けた活動報告～

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は4月27日、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する当社グループの活動をまとめた「サステナビリティレポート 2023」を作成しました。報告内容は[ホームページ](#)にて公開しています。

本レポートは ESG 投資の専門家をはじめ幅広い読者に向けて、当社グループのサステナビリティ活動を網羅的に報告しています。

今年のレポートは、中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」(2022～2024年)の基本方針の一つ「事業と ESG の更なる一体化」の実現に向けた、9つの重要課題の数値目標に対する2022年度の結果および事業と連動した活動内容を掲載しています。

また、投資家などから注目を浴びているTCFD<sup>※1</sup>への対応として、事業毎のシナリオ分析を改めて実施。次期中期経営計画策定を見据え、全社横断的な課題と対応策を開示しました。報告内容は GRI スタンダード 2021<sup>※2</sup>や SASB スタンダード<sup>※3</sup>を参考に作成しています。

[サステナビリティレポート 2023\(ホームページ\)](#)

住友林業グループは2022年2月、脱炭素社会の実現に向けてSDGsの目標年でもある2030年を見据え、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」とその達成に向けた基盤を作るための3年間として中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」(2022～2024年)を発表しました。中期経営計画では「事業と ESG の更なる一体化」を基本方針の一つに掲げ、サステナビリティ戦略及び重要課題を組み入れた「中期経営計画サステナビリティ編 2024」を定めています。長期ビジョンを達成するための重要課題を「地球環境への価値」、「人と社会への価値」、「市場経済への価値」に紐付け、それぞれの価値向上につながる事業活動を推進します。

## ■「サステナビリティ レポート 2023」概要

- ・対象期間:2022年1月～2022年12月
- ・対象組織:当社と連結子会社および一部の持分法適用会社
- ・公開方法:住友林業ホームページ(<https://sfc.jp/information/sustainability/>)にて公開
- ・第三者保証機関:KPMG あずさサステナビリティ株式会社

## ■冊子版について

- ・「サステナビリティ活動ハイライト」を、ダイジェスト版冊子として発行(6月予定)。
- ・WEBの詳細情報を紙媒体で必要とされる場合は、PDF版「サステナビリティレポート 2023」をご利用ください(6月公開予定)。
- ・長期的な企業価値向上へ向けた取り組みを報告するため、非財務面の情報を含む統合報告書を発行(6月予定)。

※1 気候関連財務情報開示タスクフォース

※2 UNEP(国連環境計画)の公認団体であるGRI(Global Reporting Initiative)が策定する企業・組織に対するサステナビリティレポートिंगに関する国際基準

※3 米国サステナビリティ会計基準審議会(Sustainability Accounting Standards Board)が公表するESG情報開示のフレームワーク。

《本件に関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部 小山田  
TEL:03-3214-2270